報告日　令和6年7月30日
報告回次　　1日目

令和６年度　地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

１．申請団体情報

１－１．申請団体

団体名	北九州市役所			代表者名	武内　和久
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	DX推進課	連絡先電話番号	093-582-3557
担当者役職	係長	担当者氏名	加藤　睦美	連絡先E-mail	
住所	803-8501　福岡県北九州市小倉北区大門1-1				

１－２．推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

１－３．支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	北九州市DX人材育成プロジェクト
概要	DX推進リーダーを対象とした研修で、シェアリングエコノミーのデジタルを活用した事例などについて講演いただく。		
支援を求める分野	シェアリングエコノミー 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）		

２．地域情報化アドバイザー派遣実績

２－１．対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年7月25日	講演(実地)	13時30分	17時00分	20
				活動時間（分）	190
２－２．派遣場所	会場名	北九州芸術劇場		最寄駅	西小倉駅
	所在地	福岡県北九州市小倉北区室町１丁目１-１-１１		最寄駅からの交通手段	徒歩10分

３．派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸　裕一
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	事前に北九州市について勉強していただいたり、当日の研修の前の話者の内容を盛り込まれたりと、森戸様の周到な事前準備と話術のおかげで大変分かりやすく腹落ちする研修となりました。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。もっと時間をとってお話いただけば良かったと思いました。

４．依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

４－１．支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	700人
属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	700			

４－２．支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	DX人材の育成にあたっては、デジタルツールの導入のみならず、政策・組織のあり方を含めた抜本的な変革に取り組むという意識改革を重視している。市民や企業の皆さんが見えていない潜在的なニーズや、あるいは想定していないサービスを行政の側から作り出していく、新しい行政需要をこちらから喚起していくためには、「シェアリングエコノミー」による新しい共助の考え方や、その実現のための新たなデジタルサービスを理解することが必要だと考えるが、大多数の職員はまだこれに関する知識を有していない。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	今回の研修対象者は各職場（市役所全課）から選出されたDX変革リーダーであり、この講義内容を各職場でのDX（特に市民サービス向上）を進める上での考え方の一つとして活用してもらう。

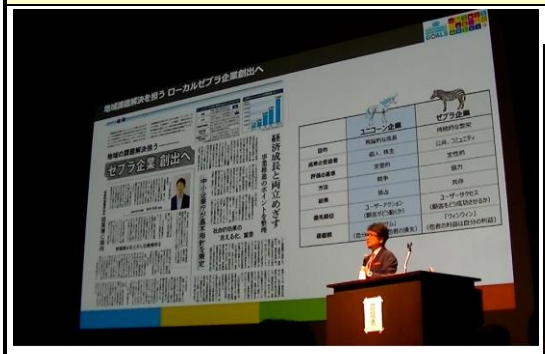
アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	シェアリングエコノミーとデジタルを掛け合わせた、持続可能な共創のまちづくりの考え方を、実例を織り交ぜながらご講義いただく。
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	DXの最終的な目標ははWell-beingであること、それを達成するためのシェアリングエコノミーとは？というテーマでお話いただき、DXは業務改革と思いがちな受講生たちに、違う視点を提供することができた。業務改革DXで生み出された時間とマンパワーで何をするのか、住民との接点の視点、まちづくりの視点など。ローカル・ゼブラ企業が地域の関係者と連携し、社会インパクトを創出し、課題解決に取り組むエコシステムを形成する、持続可能なまちづくりを目指すという発想への気づきを受講生に与えることができた。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 受講生は今年度これ以外にも12種類の研修を受講する。研修受講と課題提出により、各職場のDX実行人材となり、各職場でのDXを進める上で、今回の研修内容を生かした施策立案という成果が出てくることを期待している。 具体的にご記入下さい。支援を受けた事業が成果 因(自治体側に内在してい
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 （具体的にご記入ください）	上記と同じ
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（ＥＸＣＥＬやＰＤＦでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 「有意義・おおむね有意義」と答えた受講生が81%、「普通」が14%、「有意義でなかった・あまり有意義でなかった」が５%。「シェアリングエコノミーの定義がわかり、市役所が取り組む意義を考えるきっかけになった」「新たな産業振興の形として大変勉強になった」など、前向きなコメントが寄せられた。
４－３．今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい ①予算は確保済みであり、年度内に推進する DX人材育成プロジェクトはR5～R7の3年間での事業であり、来年度まで継続する。今回森戸さんの講演が大変好評だったので、来年度もお願いすることを検討している。 具体的にご記入下さい 支援を受けた事業が成 (自治体側に内在してい
４－４．事業の最終的な目指す姿	2,400名のＤＸ推進リーダーの育成。市役所のＤＸで生み出された時間とマンパワーで、多様化する市民・地域や企業等のニーズや課題に迅速に対応する新しい行政のサービスモデルを生み出すことを目指している。

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	○掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past year all houkoku/

なお＜その他＞を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6．地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。